

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 造形美術事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 造形美術情報交流（招へい）

### 2. 催し等事業費

- (1) 国際展参加
- (2) 海外展（企画）
- (3) 海外展（巡回）
- (4) 国内展
- (5) 国内展（AC）
- (6) 海外展（助成）
- (7) 国内展（助成）
- (8) 造形美術情報交流（催し）
- (9) 「愛・地球博」途上国支援事業

### 3. 催し等事業費（トリエンナーレ）

- (1) 国際展

## 1. 人物交流事業費 (1) 造形美術情報交流(招へい)

海外の専門家の招へいを通じ、日本の美術情報の海外発信を行なうとともに、海外の美術情報を収集し、また人的ネットワークの充実を図る。

合計額 2,818,956円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	TARSIA, Andrea(文化人短期)	英国	05.02.09～ 05.02.15		英国ホワイトチャペル・アートギャラリーのキュレーターであるTarsialeを招へいし、日本の現代美術を紹介すると共に日本の美術界とのネットワークを図った

## 2. 催し等事業費 (1) 国際展参加

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 57,663,500円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	第9回ヴェネツィアビエンナーレ建築展・帰国展	日本	東京	東京都写真美術館	05.02.05～ 05.03.13	第9回ヴェネツィアビエンナーレ建築展。日本館の帰国展を東京都写真美術館で行なった
2	第11回インド・トリエンナーレ	インド	ニューデリー	ラリット・カラ・アカデミー	05.01.15～ 05.02.10	国立国際美術館・中井康之をコミッショナーとして、伊藤存（刺繍によって様々なイメージを画面にコラージュする）、長谷川繁（絵画史における典型的なモチーフを再解釈する）、矢櫃徳三（板面を彫り刻む行為と彩色、言葉によって特異な表現を構成する）、吉田暁子（日本画材の特質を追求し、独自の空間表現を試みる）の4作家の絵画作品を紹介
3	第11回バンガラデシュ・ビエンナーレ(継続)	バンガラデシュ	ダッカ		04.04.31～ 04.10.31	2004年1月に開催されたバンガラデシュ・ビエンナーレの延長分の保険料等
4	第12回バンガラデシュ・ビエンナーレ(準備)	バンガラデシュ	ダッカ	オスマニ記念ホール	04.04.01～ 05.03.31	第12回バンガラデシュ・ビエンナーレ参加の準備を行なった
5	第26回サンパウロビエンナーレ	ブラジル	サン・パウロ	シッシロ・マタラッソ・パビリオン	04.09.25～ 04.12.19	日本館コミッショナー：水沢勉、出品作家：宮崎進。「Voices of Siberia」をテーマに、立体、平面、ドローイング等計12点の作品を展示

## 造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
6	第9回ヴェネツィア・ビエンナーレ建築展	イタリア	ヴェネツィア	カステロ公園日本館	04.09.12～ 04.11.07	総合ディレクターにKurt Forsterをむかえて、Metamorphosesをテーマとする第9回ヴェネツィア・ビエンナーレ建築展に参加する。日本館は、「おたく：パーソナリティ＝空間＝都市」をテーマに、森川嘉一郎をコミッショナーとし丹下健三、岡田斗司夫、海洋堂、大嶋優木、斉藤環、開発好明、コミックマーケット準備会、宣政佑、よつばスタジオが出品作家として参加
7	第51回ヴェネツィア・ビエンナーレ（準備）	イタリア	ヴェネツィア	カステロ公園内日本館	04.04.01～ 05.03.31	第51回ヴェネツィア・ビエンナーレ美術展の国別参加の準備を行なった

### 2. 催し等事業費 (2) 海外展(企画)

海外の美術館・博物館などとの共催により、わが国の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 82,740,426円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	日韓友情年2005関連展示事業	韓国	ソウル	ソウル市立美術館	04.04.01～ 05.03.31	日韓友情年2005に関連し、日本紹介展示事業を韓国にて開催
2	日本名宝展	中国	北京	中国国家博物館	04.05.25～ 04.06.30	日本文化の流れを縄文時代から江戸時代まで通観する展覧会。出品件数は99件（うち国宝6件、重要文化財25件）
3	「Living Together is Easy-日本とオーストラリアにおける作家12人」展	オーストラリア	メルボルン	ヴィクトリア州立美術館	04.08.27～ 04.11.07	現在活躍中の日豪の現代作家6人ずつ、計12人の作品を取りあげた展覧会。平成15年度の水戸芸術館での展示（2004年1月～3月）を受けて、本年度はヴィクトリア州立美術館で展示を行なった
4	第26回サンパウロ・ビエンナーレ	ブラジル	サン・パウロ	シッシロ・マタラッソ・パビリオン	04.09.25～ 04.12.19	企画重点へ出品招待された畠山直哉を開幕時に派遣
5	JIKI-日本の磁器1610-1760	イタリア フランス ベルギー	ファエンツァ パリ ブリュッセル	ファエンツァ国際陶芸博物館 パリ日本文化会館 ベルギー王立美術歴史博物館	05.04.13～ 05.08.28 04.11.26～ 05.04.02 04.06.26～ 04.11.07	伊万里の誕生から、欧州向け輸出の開発、欧州磁器に与えた影響などを追う。特に、日本向けの作品と輸出用の作品の比較に焦点を当て、また伊万里を写した欧州磁器も展示。パリ、ブリュッセルについては「日EU市民交流年」関連事業となる

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
6	日本の知覚展 (準備)	オーストリア	グラーツ	クンストハウス・グラーツ	05.06～ 05.09	日本の現代美術を紹介する展覧会。今年度はその準備を行なった
7	日本の考古— 曙光の時代	ドイツ	マンハイム	ライッス・エンゲルホルン博物館	04.07.25～ 04.10.24	縄文時代から飛鳥・奈良時代まで、日本の代表的な考古資料を系統的に展示する、海外で初めての大規模な展覧会。出品件数108件のうち、国宝5件、重要文化財32件を数える
			ベルリン	マルティン・グロピウス・パウ展示館	04.11.20～ 05.01.31	
		日本	奈良	奈良国立博物館	05.03.23～ 05.05.08	
8	坂本一成建築展	ドイツ	ミュンヘン	ピナコテーク・デア・モデルネ建築美術館	04.10.21～ 05.01.09	日本における住宅建築の第一人者である坂本一成(東工大教授)の作品を通じ、海外ではまだあまり知られていない現代日本の住宅建築を紹介。写真、図面、模型等を展示
		デンマーク	コペンハーゲン	王立デンマーク芸術大学建築学部	05.03.18～ 05.04.24	
9	「浮世のイメージ 17-18世紀」展	フランス	パリ	グラン・パレ国立ギャラリー	04.09.29～ 05.01.03	浮世絵における人物描写に焦点を当てた、フランスでは久々となる大型の浮世絵展。国立ギメ東洋美術館の所蔵作品を中心としつつ日本からも約30点が出品
10	ひととロボット展	フランス	パリ	パリ日本文化会館	04.04.01～ 05.03.31	平成15年度に開催された展覧会の報告書作成業務等
11	妖怪展(準備)	フランス	パリ	パリ日本文化会館	04.04.01～ 05.03.31	日本の「妖怪」の起源とその変遷をたどる展覧会の準備
12	心の在り処(継続)	ロシア	モスクワ	モスクワ市現代美術館	04.04.01～ 04.05.31	2004年度に開催された「心の在り処」展の作品返却経費等

## 2. 催し等事業費 (3) 海外展(巡回)

国際交流基金が所蔵する美術・文化に関する展示セットを海外諸国に巡回する。

合計額 128,049,531円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	日本の美を撮る	中国	香港		04.04.01～ 04.08.31	2004年2月で巡回期限を迎えた「日本の美を撮る」展の作品返却等にかかる業務を行なった

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
2	凧・独楽展F	カンボジア ベトナム タイ ネパール	プノンベン カントー ホー・チ・ミン ハノイ バンコク チェンマイ カトマンズ	ワット・プノン 展示センター 国立カントー大 学 ベトナム日本人 材協力センター 日越人材協力セ ンター 子供博物館 チェンマイ国立 博物館 ネパール芸術評 議会	04.09.06～ 04.09.26 04.10.19～ 04.10.26 04.11.02～ 04.11.07 04.11.24～ 04.12.07 04.12.20～ 04.12.31 05.01.07～ 05.01.14 05.02.07～ 05.02.18	凧も独楽も伝統的な日本の玩具として、日本全国それぞれの地方で独自のデザインや遊び方が発達している。本展はそうした数多い作品の中から特色あるものを紹介
3	日本の版画 1950-1990	ブルネイ マレーシア トルコ レバノン イエメン エジプト アラブ首長 国連邦	バンドルス リブガワン ペナン クアラルン プール イスタン ブール アンカラ ビブロス バイルート サナア カイロ アブダビ	国際会議場 マレーシア科学 大学美術館 国立言語文学セ ンター シェケル・アフ メット・バジャ 美術館 土日基金文化セ ンター レバノン・アメ リカン大学ビブ ロス校 レバノン大学美 術学部劇場 文化の館 カイロ・オペラ ハウス 文化財団	04.03.31～ 04.04.11 04.05.17～ 04.05.30 04.07.05～ 04.07.25 04.09.10～ 04.09.24 04.10.01～ 04.10.24 04.11.04～ 04.11.11 04.11.17～ 04.11.22 04.12.04～ 04.12.15 05.01.08～ 05.01.29 05.03.21～ 05.03.26	20世紀後半に活躍した46作家のそれぞれ代表作を含む計75点の版画作品を紹介。この時代の日本の版画史を一望できる内容
4	90年代の日本 の絵画展	マレーシア ヨルダン シンガポー ル	クアラルン プール アンマン シンガポー ル	ギャラリー・ベ トロナス ナショナル・ ギャラリー アーツ・ハウス	04.09.04～ 04.09.20 04.11.27～ 05.01.02 05.01.01～ 05.03.31	現在高い評価を得ている越前谷嘉高、会田誠、額田宣彦、丸山直文、小林孝亘、村上隆、太郎知恵蔵、奈良美智、福田美蘭が90年代に30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしたかを30点の作品から紹介

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
5	日本のクレイワーク	韓国	西帰浦	西帰浦市立図書館	04.11.05～ 04.11.18	陶を素材とした立体造形（クレワーク）の代表的な作家29名による50年代から90年代に制作された作品44点を紹介
			釜山	釜山市役所展示室	04.11.22～ 04.11.27	
			ソウル	公報文化院・シルクギャラリー	04.12.06～ 04.12.22	
	モンゴル	ウラン・バートル	国立美術館	04.09.03～ 04.09.17		
	ミャンマー	ヤンゴン	さくらタワー	04.07.26～ 04.08.08		
	インド	デリー	ラリット・カラ・アカデミー	04.04.28～ 04.05.12		
		チャンディガル	チャンディガルラリット アカデミー	04.05.20～ 04.06.04		
		ボーパール	インド文化センター	04.06.12～ 04.06.23		
	オーストラリア	シドニー	シドニー日本文化センター	05.01.28～ 05.02.25		
6	写楽再見展	オーストラリア	メルボルン	モナシュ・ギャラリー	04.04.08～ 04.05.13	
			パース	セントラルティフ・アートギャラリー	04.07.05～ 04.07.25	
			カウラ	カウラ市内ギャラリー	04.08.01～ 04.08.13	
			シドニー	シドニー日本文化センター	04.11.02～ 04.12.05	
	米国	デルレイ	森上美術館	04.09.10～ 04.10.13		
		ボールダー	市立ボールダー図書館	05.01.07～ 05.02.06		
	チェコ	リベレッツ	北ボヘミア博物館	05.03.31～ 05.05.01		
7	日本人形展E	米国	アンカレジ	アンカレジ歴史美術館	04.04.16～ 04.05.18	日本の伝統的な「雛人形」や「五月人形」等を始め、各地方に様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介
8	現代日本の工芸展	米国	ホノルル	東西センター・ギャラリー	04.03.10～ 04.04.25	現代日本の工芸の状況を共通する6つの特色ー華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥ーに分類し、64点の作品によって紹介
			ヘレナ	熊本プラザ	04.05.12～	
			ロサンゼルス	日米文化会館	04.06.04	
			コーパス・クリステイ	テキサス州立アジア文化美術館・教育センター	04.06.19～ 04.08.01	
					04.11.06～ 04.12.26	
		シュリーヴポート	センテナリー・カレッジ・メドウズ美術館	05.01.08～ 05.02.20		

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容	
9	ポスターに見る日本B	米国	ワシントンDC ロングモント	在米国大使館広報文化センター ロングモント美術館・文化センター	04.03.12～ 04.04.30 04.06.05～ 04.06.20	公共広告のために制作されたポスター75点を通して現代日本社会を紹介	
			ラス・ヴェガス	コミュニティ・カレッジ・オブ・サザンネバダ	04.07.06～ 04.08.14		
			カンザス・シティ	ボーク郡ヘリテージギャラリー	04.08.14～ 04.09.20		
			カンザス・シティ	ジョンソン郡コミュニティカレッジ	04.10.01～ 04.10.15		
			デトロイト	ファーミントンヒルズ市役所	04.11.01～ 04.12.17		
		アイルランド	ダブリン	オスカー・ワイルド・ハウス	05.01.21～ 05.02.03		
		フランス	メス	メッス市図書館 ラオス日本人材開発センター	05.03.03～ 05.04.15		
10	くまもとアートボリス	米国	ペンサコーラ デンバー	ジャパンハウス コロラド大学デンヴァー校建築学部校内	04.03.16～ 04.04.26 04.06.17～ 04.07.09	地域の歴史と自然を生かしながら後世に残る都市文化・建築文化を創出することを目的とした事業として高い評価を得ている「くまもとアートボリス」プロジェクトを紹介する建築展	
			ワシントン	在米国大使館広報文化センター	04.08.02～ 04.08.27		
		アルゼンチン	ブエノス・アイレス	ベルグラノ大学 展示会場	04.09.13～ 04.09.23		
		ボリビア	ラパス	ラパス市文化会館 国立美術館	04.10.12～ 04.10.28 04.10.30～ 04.11.23		
			ボリビア・カトリック大学		04.11.25～ 04.12.10		
		ニカラグア	マナグア	国立文化宮殿	05.02.10～ 05.02.24		
		ホンジュラス	サンペドロ・スーラ テグシガル	サンペドロスーラ文化センター アトランティーダ銀行文化ホール	05.03.03～ 05.03.11 05.03.15～ 05.03.29		
11	現代日本のデザイン展	韓国	ソウル	省谷美術館	04.11.04～ 04.12.17		プロダクト・デザイン約100点を中心に、日本のデザインを紹介
		米国	エヴァンズヴィル	オールドナショナル銀行	04.09.09～ 04.10.23		
			アトランタ	アトランタ・デザイン美術館	05.02.03～ 05.04.10		

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容	
12	現代陶磁器展	コロンビア	サンタ・フェ・デ・ボゴタ	ルイス・アンヘル・アランゴ図書館展示会場	04.03.16～ 04.04.26	現代日本の若手陶芸家作家を中心に、日本各地の窯によって7つのカテゴリーを設け、現代の陶芸状況を紹介	
		エクアドル	キト	国立文化会館	04.05.03～ 04.05.16		
		ニカラグア	マナグア	文化宮殿	04.06.08～ 04.06.28		
		グアテマラ	グアテマラ	国立近代美術館	04.07.08～ 04.07.30		
		ホンジュラス	テグシガルパ	テグシガルパ児童博物館展示ホール	04.08.09～ 04.08.22		
		メキシコ	メキシコ・シティ	カーサ・フリサック	04.10.14～ 04.11.19		
		キューバ	ハバナ	国立装飾美術博物館	04.12.16～ 05.01.16		
		ドミニカ共和国	サントドミンゴ	現代美術館	05.03.08～ 05.05.01		
13	こけし展B	インドネシア	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	04.08.16～ 04.08.25	日本を代表する民芸品の一つである「こけし」を伝統的な作品と現代の創作作品にて紹介	
			マカッサル	在マカッサル総領事館	04.09.08～ 04.09.21		
			メダン	在メダン総領事館	04.10.14～ 04.10.24		
		ブラジル	リオ・デジャネイロ	連邦裁判所文化センター	04.10.22～ 04.11.07		
			フロリア	サンタ・カタリーナ美術館	04.11.26～ 04.12.12		
			ノーボリス	ジョインヴィーレ市美術館	04.12.15～ 04.12.21		
			ジョインヴィーレ	カーザ・アンドラーデ・ムリシ展示場	05.01.11～ 05.02.13		
			クリチバ	連邦貯蓄銀行アトリウム	05.02.17～ 05.03.04		
			ブラジリア	レシフェ市美術館	05.03.09～ 05.03.20		
			ベレン	エスタソン・ダス・ドカス	05.03.28～ 05.04.16		
14	日本現代建築A	ペルー	リマ	ペルー建築学会	04.04.13～ 04.04.30		1985年から1996年までに竣工した日本の建築作品の中から100点を選び、その存在する「場所」をテーマとして、7つのカテゴリーに分けて写真パネルにより紹介
		ベネズエラ	ボコダ	国立ロス・アンデス大学	04.05.19～ 04.05.28		
			カラカス	国立ベネズエラ中央大学	04.06.07～ 04.06.17		
		ウルグアイ	モンテビデオ	モンテビデオ県庁	04.07.05～ 04.07.22		
		パラグアイ	アスンシオン	パラグアイ日本人造りセンター	04.08.06～ 04.08.23		



## 造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
15	新世代アーティスト展	イタリア ポルトガル ルクセンブルク	ローマ シントラ ルクセンブルク	ローマ日本文化会館 シントラ美術館 ノイミュンス ター修道院文化会館	04.05.24～ 04.07.31 04.12.04～ 05.01.11 05.02.04～ 05.03.21	2000年代の日本の注目アーティストによる絵画、彫刻、写真、映像などを展示し、新しい世代による美術表現を紹介
16	スピリトを写す	英国	ハリファックス ダンディー サウサンプトン ハル アベリス トゥイス ニュー・タウン	Halifax Piece Hall Art Gallery ダンディー大学 ギャラリー Millais Gallery European Illustration Collection Hull (EICH) Aberystwyth Arts Centre Oriol Davies Gallery	04.03.20～ 04.05.02 04.06.25～ 04.08.20 04.09.10～ 04.10.23 04.11.06～ 04.12.11 05.01.15～ 05.03.05 05.03.19～ 05.04.30	松涛美術館の光田由里の監修により、細江英公、市川美幸らの作品を通じて精神的な基盤の失われた時代に見えない価値を表現しようとする作家たちの姿を紹介
17	out of ordinary・extraordinary	ドイツ スペイン ベルギー	ケルン バジャドリッド バルセロナ サンタクルス・デ・テネリフェ リエージュ	ケルン日本文化会館 バジャドリッド大学 カーサ・アジア カリアナ金融公庫芸術文化ホール リエージュ市文化センター	04.05.17～ 04.07.31 04.10.01～ 04.10.22 04.11.04～ 04.12.27 05.01.10～ 05.01.23 05.02.03～ 05.03.13	過去の価値観が通用しなくなっている現在の状況を直視し、新たな表現の可能性に取り組んでいる日本の写真家11名の作品約102点を紹介

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容	
18	日本現代建築 B	中国	瀋陽	張学良故居博物館	04.09.15～ 04.09.28	1985年から1996年までに竣工した日本の建築作品の中から100点を選び、その存在する「場所」をテーマとして、7つのカテゴリーに分けて写真パネルにより紹介	
			青島	山東省青島市国際会議中心	04.10.10～ 04.10.14		
			無錫	無錫市図書館	04.11.12～ 04.11.21		
			香港	香港大学美術博物館	04.12.10～ 05.01.02		
		インド	ラクナウ	ラリット・カラ・アカデミー	05.01.24～ 05.02.20		
			ムンバイ (ボンベイ)	ジャハンギー ル・K・S・ニコ ルソン・ギャラ リー・オブ・モ アンアート	05.03.15～ 05.03.23		
		米国	グアム	グアム大学イス ラセンター	04.07.29～ 04.08.27		
		ドイツ	キール	ドイツ国立経済 研究図書館	04.04.02～ 04.05.28		
19	日本人形展D	アゼルバイ ジャン ハンガリー	バクー ペーチュ	国立じゅうたん 民族芸術博物館 芸術の家	04.04.20～ 04.05.02 04.07.05～ 04.07.25		日本の伝統的な「雛人形」や「五月人形」等を始め、各地方に様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介
			ケストハイ	ヘリコン宮殿美 術館	04.07.31～ 04.08.29		
20	伝統陶芸展	ドイツ	ミュンヘン	ミュンヘン民族 学博物館	04.05.05～ 04.07.11		
		ノルウェー	オスロ	ボムロスファブ リーケン芸術 ホール	05.01.15～ 05.02.27	河井寛二郎、濱田庄司など日本の陶芸を世界に知らしめた個人陶芸家の他、現在日本の伝統陶芸界の第一線で活躍している作家55名の作品65点で構成し、日本の伝統陶芸の動向を紹介	
		フィンランド	オウル	オウル青年文化 会館	04.07.23～ 04.08.29		
		エストニア	タルトゥ	エストニア・ス ポーツ博物館	04.09.10～ 04.10.08		
		チェコ	ピルゼン	西ボヘミア博物 館	04.03.15～ 04.04.25		
		ベラルーシ	ミンスク	ベラルーシ共和 国国立美術館	04.12.06～ 04.12.19		
			ゴメリ	郷土博物館支部 「狩猟小屋」	04.12.22～ 05.01.09		
		ラトビア	リガ	外国美術館	04.10.15～ 04.11.05		
		リトアニア	カウナス	陶芸美術館	04.11.11～ 04.11.28		
		ルーマニア	ブカレスト	ルーマニア国立 美術館	05.03.11～ 05.04.18		

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
21	ポスターに見る日本A	バングラデシュ フィリピン ラオス ポーランド ロシア	ダッカ マニラ ビエンチャン クラクフ サンクト・ペテルブルグ ニージニー・ノブゴロド エカテリンブルグ ユジノサハリンスク ヤクーツク ウラジオストク	バングラデシュ国立博物館 シャングリラプラザモール 国立文化会館 ラオス日本人材開発センター 日本美術技術センター ロシア国立図書館 ニージニー・ノブゴロドニホンセンター エカテリンブルク市立美術館 サハリン州立学術図書館 サハ共和国立美術館 アルセーニエフ沿海地方国立総合博物館	05.01.18～05.02.01 05.02.10～05.02.26 05.03.04～05.03.07 05.03.10～05.03.18 04.05.20～04.06.15 04.07.12～04.08.09 04.08.23～04.09.03 04.09.13～04.09.26 04.10.12～04.10.27 04.11.12～04.11.30 04.12.08～04.12.22	商業広告のために制作されたポスター75点を通して現代日本社会を紹介
22	こけし展A	モロッコ ガーナ コートジボワール スーダン セネガル ナイジェリア 南アフリカ	ラバト アクラ アビジャン ハルツーム ダカール ラゴス プレトリア	在モロッコ大使館多目的ホール ガーナ国立博物館 コートジボワール文明美術館 国立芸術文化評議会 ナショナル・ギャラリー サント・マリー学院 ナイジェリア国立劇場附属美術館 国立劇場	04.03.22～04.04.03 04.04.29～04.05.11 04.11.16～04.11.27 05.03.15～05.03.25 04.12.08～04.12.18 05.01.10～05.01.22 04.10.14～04.10.25 04.06.22～04.07.20	日本を代表する民芸品の一つである「こけし」を伝統的な作品と現代の創作作品にて紹介する。同時にてまり作品も展示

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
23	自然に潜む日本	ベネズエラ イスラエル エチオピア ギニア ケニア ザンビア	カラカス ハイファ アディスアベバ コナクリ ナイロビ ルサカ	コープバンカ文化センター ハイファ市ティコティン日本美術館 エチオピア国立博物館 国立博物館 在ケニア大使館広報文化センター ザンビア大学図書館	05.02.23～ 05.03.06 04.07.03～ 04.07.31 05.01.17～ 05.01.30 04.06.01～ 04.07.31 04.11.22～ 04.12.17 04.10.04～ 04.10.17	若手写真家矢萩喜従郎氏の写真作品によって日本各地の風景をモノクロの写真85点で紹介
24	新規巡回展制作	全世界区分困難			04.10.01～ 04.03.31	新規巡回展 「手仕事のかたち」の制作
25	戦後日本写真展（新規セット）	全世界区分困難			05.03.24～ 05.03.31	国際交流基金所蔵の写真に新たに購入する写真作品を加えて、戦後日本の写真史を通観する巡回展を作成するため、新規作品の購入を行なった

## 2. 催し等事業費 (4)国内展

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。  
合計額 2,334,914円

	事業名	国	都市	期間	共催者	事業内容
1	中欧現代美術展（準備）	日本	23区 広島市 大阪市	04.04.01～ 05.03.31 04.04.01～ 05.03.31 04.04.01～ 05.03.31	東京都現代美術館 広島市現代美術館 国立国際美術館	2005年8月より開催の中東欧地域の現代美術を紹介する展覧会の準備
2	ブラジル・ボディ・ノスタルジア	日本 ブラジル	東京都その他 京都市	04.06.08～ 04.07.25 04.08.17～ 04.09.20	東京国立近代美術館 京都国立近代美術館	日本ではこれまで未知のブラジルの現代美術を、ブラジル独特の「身体」という切り口から紹介する。90年代以降活躍する作家を中心に、物故作家も含め9名の作品を展示

## 造形美術事業費

### 2. 催し等事業費 (5)国内展 (AC)

さまざまなテーマを設定してグループ展や個展を実施し、アジアの現代を伝える。また、展示と関連付けてシンポジウムなどを実施し、アジアの芸術に対するより深い理解を促進する。

合計額 34,591,416円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	アジアのキュビズム(準備)	日本 韓国 シンガポール	23区 ソウル シンガポール	東京国立近代美術館 韓国国立現代美術館 徳寿宮美術館 シンガポール美術館	05.08.09～ 05.10.02 05.11.11～ 06.01.30 06.02.18～ 06.04.09	アジア11カ国のキュビズム作品約120点の紹介を通じてアジアの近代を再考
2	Have We Met?	日本 インド インドネシア タイ	東京都その他	国際交流基金フォーラム	04.12.10～ 05.01.30	日本とアジアのキュレーター4名の共同企画により展覧会コンセプトを作成し、それに基づき作家、作品を選定

### 2. 催し等事業費 (6)海外展 (助成)

内外の美術館などが主催し海外で開催する日本の美術・文化紹介に関する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

合計額 20,983,392円

	事業名	期間	国(都市)	会場	助成団体	事業内容
1	Contemporary Art Exhibition, 2004 Busan Biennale	04.08.21～ 04.10.31	韓国(釜山)	Busan Metropolitan Art Museum	2004 Busan Biennale Organizing Committee	「深い淵」を主題、「N.E.T. (N: きずな、E: 出会い、T: 旅/N: 交渉、E: 環境、T: 通過)」を副題として、世界各国約100名の作家が参加する国際現代美術展。日本からは、宮島達男、高嶺格らが参加
2	The Evolution of Asexualized Space, Japan - popular imagination of contemporary art in Japan	04.09.17～ 04.11.16	韓国(ソウル)	ILJU ART HOUSE	ILJU ART HOUSE	「現代美術における日本というローカリティとナショナルリティ」という企画テーマのもとで開催される、映像アーティストの東芋とサキサトムの二人による展覧会
3	2004 Biennale of Sydney-On Reason and Emotion	04.06.04～ 04.08.15	オーストラリア(シドニー)	Many venues participate, including Art Gallery of New South Wales	Biennale of Sydney Ltd	2004年のシドニービエンナーレはreason on emotionをテーマに32カ国から52名のアーティストが参加。日本からは笠原恵美子が参加する。また、シドニービエンナーレはオークランドトリエンナーレと協調して展覧会を行なった

	事業名	期間	国(都市)	会場	助成団体	事業内容
4	SUBJECT : A Project of Noritoshi Hirakawa and Thom Mayne "The Architecture of Life"	04.04.05～ 04.05.22	カナダ(トロント)	University of Toronto	Faculty of Architecture, Landscape, and Design University of Toronto	Morphosisの建築を撮影してきたNY在住の現代美術作家平川典俊が、トロント大学のグラデュエイトセンター(Morphosisの建築)を舞台に見立てて、その場所における学生の生活と建築の関係を考察することにより、建築の役割や建築家の責任を考察した
5	Shomei Tomatsu: Skin of the Nation	04.09.22～ 05.02.01 05.02.01～ 05.04.30 05.05.21～ 05.08.29 05.10.15～ 06.02.12	カナダ(オタワ) 米国(ワシントン、ニューヨーク、サン・フランシスコ)	National Gallery of Canada Corcoran Gallery of Art Japan Society Gallery San Francisco Museum of Modern Art	San Francisco Museum of Modern Art	原爆の後遺症や米軍の駐留、高度経済成長やアメリカ化の様子を撮影した写真257点から構成され、北米で初めて開催される東松照明の写真展。本展は、アメリカと日本の相違点を撮った東松照明の写真を通して、西洋において、戦後日本の歴史、現代日本の美術や文化への理解度を深めることを目的とした
6	Celebrating Japan through the Seasons	04.01.13～ 04.06.27	米国(ニューヨーク)	Asia Society Museum	Asia Society and Museum	屏風や陶磁器、漆芸、木版画、金細工など、アジア・ソサエティの所蔵するロックフェラー・コレクションやニューヨークの美術収集家の所蔵する個人コレクションによって構成される日本の古美術展。本展にあわせて、エイコ&コマの現代舞踏公演を含む日本文化関連プログラムが開催された
7	New Urushi Forms: Contemporary Lacquer Art from Japan	04.05.05～ 04.08.08	米国(サン・フランシスコ)	Museum of Craft & Folk Art San Francisco	Museum of Craft & Folk Art	3名の日本現代美術家(藤田敏彰、栗本夏樹、松島さくら子)の漆工芸の展覧会。日本の伝統工芸である漆塗りの技術を、現代アートに取り入れた作品を紹介した
8	Different Lands/Shared Experiences: The Emergence of Modern Industrial Society in Japan and the United States	04.09.04～ 04.10.02	米国(セント・ルイス)	St.Louis Mercantile Library at University of Missouri-St.Louis	The Curators of the University of Missouri on behalf of the Center for International Studies, University of Missouri-St.Louis	ミズーリ大学セントルイス校国際研究センター、同校商業博物館および渋沢史料館の共催による展覧会。日本側は、国文学研究史料館に保存されている日本実業史博物館旧蔵資料、アメリカ側は、商業博物館所蔵資料を出展し、日米経済の近代化の比較を行なった

## 造形美術事業費

	事業名	期間	国(都市)	会場	助成団体	事業内容
9	Electrifying Art: Atsuko Tanaka, 1954-1968	04.09.14～ 04.12.11	米国(ニュー ヨーク) カナダ(バン クーバー)	Grey Art Gallery Belkin Art Gallery	New York University	戦後日本の美術史において重要な位置を占める前衛美術グループ「具体美術協会」の創設メンバーのひとりである田中敦子の回顧展。パフォーマンスや絵画、ドローイングにおける独特の功績を明確に示すことによって、日本人作家、女性作家、現代美術家としての田中敦子の役割を確立
10	Carnegie International	04.10.09～ 05.03.20	米国(ピッツ バーグ)	Carnegie Museum of Art	Carnegie Museum of Art	1896年に始まり、今回で54回目を迎える国際現代美術展。世界各国40名の作家による計約125点の作品から構成される。日本からは、CGアーティスト青島千穂が参加
11	The Exhibition of Japanese Kimono Collection	04.09.03～ 04.09.12	チリ(サン ティアゴ)	The National Museum of Fine Art "Salon Chile"	The National Museum of Fine Art	文化服飾学園のコレクションから17点の着物を国立美術館において展示する。APEC2004の開催を記念する展覧会
12	OFFICINA ASIA	04.06.05～ 04.09.05	イタリア(ボ ローニャ)	Galleria d'Arte moderna Bologna	GALLERIA D'ARTE MODERNA - BOLOGNA	日本、中国、韓国の3カ国から40歳未満の若手作家を紹介する大規模な展覧会。各国約20名の作家を紹介し、日本からは、西山美な子、広瀬智、加藤ミカ、などの24名の作家が参加する大規模なアジア紹介の展覧会
13	Through the Surface	04.04.06～ 04.06.13 04.06.26～ 04.08.30 04.09.26～ 04.11.18	英国(ノリッ ジ、ハリファ クス、ノッ ティンガム)	Sainsbury Centre for Visual Arts Banufield Museum Castle Museum	The Surrey Institute of Art and Design, University College	イギリス7名、日本7名のテキスタイルアーティストのコラボレーション。展覧会と同時にアーティスト・イン・レジデンス、ワークショップ、レクチャーも開催
14	A Secret History of Clay: Gauguin to Gormley	04.05.28～ 04.08.22	英国(リヴァ プール)	Tate Liverpool	Tate Liverpool	20世紀から現在に至るまで、粘土を用いてきた作家を時代別にゴッガンからゴームリーまで紹介するもので、日本からは、金子潤、白髪一男、八木一夫、中村錦平等が選出された
15	Noguchi Rika	04.06.04～ 04.07.18	英国(バーミ ンガム)	Ikon Gallery	Ikon Gallery	写真家・野口里佳のヨーロッパにおける初の個展。「潜ル人」、「ロケットの丘」、「マイナスの世界のこと」を展示
16	Liverpool Biennial: International Exhibition	04.09.18～ 04.11.28	英国(リヴァ プール)	TATE Liverpools 他	Liverpool Biennial of contemporary art Ltd.	第3回を迎える英国で唯一の国際展であるリヴァプールビエンナーレに村上隆を招待

	事業名	期間	国(都市)	会場	助成団体	事業内容
17	Manga - from Hokusai to Dragonball	04.09.04～ 05.01.09	スウェーデン (ストックホルム)	The Museum of Far Eastern Antiquities	The Museum of Far Eastern Antiquities	スウェーデンにて人気がでている日本のマンガを、その歴史的な背景から現代にいたるまで紹介する展覧会。北斎、絵巻などの歴史的な背景と劇画、アクションマンガ、少女漫画などのジャンルからドラゴンボール、手塚治虫などの作家を紹介した
18	con - con: constructed connections	04.05.08～ 05.03.04	ドイツ(ベルリン)	シュプレー川 沿い	Stadtkunstprojekte e.v.	ベルリンの中心と同縁、工業地域と居住地域を結びつけるシュプレー川に沿って、7つのパブリックアートが計画された。山本理顕(建築家) + Mischa Kuball がコラボレーションにより、「光の橋」を制作した
19	Autonomy and political acting- about the model function of co-operative structures in Japanese contemporary art	04.07.09～ 04.09.26	ドイツ(ヴァイマル)	ACC Galerie Weimar	ACC Galerie Weimar	アーティストによるインディペンデント活動や新しいネットワークのあり方を提示し、常にアートと政治・社会との関係を模索している革新的なプロジェクト。コマンドN(中村政人)、ビデオ・アートセンター東京(河合政之)等が参加
20	Yoshitomo Nara and Hiroshi Sugito Over the Rainbow	04.11.11～ 05.02.13 05.03.12～ 05.05.29	ドイツ(ミュンヘン、 デュッセルドルフ)	Pinakothek der Moderne k21 Kunstsammlung Nordrhein- Westfalen	Pinakothek der Moderne k21 Kunstsammlung Nordrhein- Westfalen	日本の現代アートを代表する奈良美智及び杉戸洋の展覧会。2004年夏にウィーンのアーティスト・イン・レジデンスに招待される奈良と杉戸の作品を紹介
21	Japan in Arles 2004	04.07.08～ 05.09.19	フランス(アルル)	Rencontres d'Arles 2004	Rencontres Internationales de la Photographie	35年の歴史を持つ国際写真展であるアルル写真フェスティバルにおいて、本年は日本を重点国として取り上げ、木村伊兵衛、川内倫子、金村修、松江泰治の4名の作品を紹介
22	Japan- Poland:Young Architecture 1994-2004	04.11.29～ 05.01.31	ポーランド (クラクフ)	THE CENTER OF JAPANESE ART & TECHNOLOGY	THE CENTER OF JAPANESE ART AND TECHINOLOGY "MANGGHA"	日本の若手建築家10名とポーランドの若手建築家10名によるそれぞれの国の建築を紹介。日本からは隈研吾、坂茂、妹島和世、渡辺真理などの建築家が、写真パネルや映像で作品を紹介



## 造形美術事業費

	事業名	期間	国(都市)	会場	助成団体	事業内容
23	Masaaki Nishi exhibition in Riga Re:Baltic	04.06.02～ 05.06.26	ラトビア(リガ)	The Artist's Union of Latvia gallery	The Center for Art Management and Information - MMIC	リガ国際彫刻展クアトロエンナーレ開催を機に、前回のクアトロエンナーレのグランプリ受賞者である西雅秋の個展を行なった。同国際彫刻展は30年以上の歴史を有する
24	Japanese Contemporary Art	04.12.14～ 05.02.01	イラン(テヘラン)	Tehran Museum of Contemporary Art	Tehran Museum of Contemporary Art	テヘラン現代美術館では、日本、中国、インドなどアジアの美術を紹介する計画を持っており、その第1弾としてヒグマ春夫など日本の現代作家5名を紹介する展覧会を開催した

### 2. 催し等事業費 (7)国内展(助成)

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。  
合計額 8,806,920円

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
1	孤独な惑星	水戸市	04.04.10～ 04.06.06	財団法人水戸市芸術振興財団	米国、オランダ、英国、イスラエルからの5作家と、会田誠、川内倫子など日本の5作家による現代美術のグループ展。各作家が人間の不完全性を表現することにより、地球上(孤独な惑星)に台頭している民族主義、原理主義の背後にある、純粋さを求めるが故の不寛容性とは異なる視点を提示した
2	アフリカのストリートアート展	川崎市	04.04.24～ 04.07.11	川崎市岡本太郎美術館	コートジボワール、ガーナ、セネガルを中心とした西アフリカや南アフリカのストリートグラフィック、ストリートファッション、生活雑貨など約390点を紹介する展覧会。写真や音楽、映像を用い、体験コーナーを設けるなど、現地の生活の様子が体感できる
3	エンプティ・ガーデン 展 II	23区	04.04.24～ 04.09.26	ワタリウム美術館	スイス、英国、フランスおよび日本の各作家計4名のインスタレーション作品による展覧会。「ガーデン(庭)」という馴染みのある言葉をキーワードに、一般的に難解とされている現代美術をより身近なものとして紹介
4	「東京写真月間2004」-「アジアの写真家たち-1. バングラデシュ」	23区	04.05.18～ 05.06.17	社団法人日本写真協会	6月1日の写真月間にあわせて行われる展覧会のひとつで、日本で紹介されることの少ないバングラデシュの生活や文化を写真で紹介する。バングラデシュを代表する写真家であるシャイダル・アラムの作品も紹介

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
5	「藍と暮らす人々 トン族 太陽と精霊の布」展	千葉市	04.07.13～ 05.08.29	千葉市美術館	中国南部から北タイの地域に暮らす少数民族であるトン族の作る染色品230点を展示する。出品作品は全てタイ在住の染色家瀧澤久仁子氏のコレクションからの選択した。千葉市美術館での展覧会後、宮城県立美術館に巡回
6	ナデジダ・オレック・リャホヴァ展	横浜市	04.07.17～ 04.08.15	リャホヴァ展実行委員会	ブルガリアの女性現代美術作家ナデジダ・オレック・リャホヴァの日本初の個展。自分の顔型を使い、アイスクリームや果物という身近な素材を用いたオブジェとデジタル出力プリントを組み合わせたインスタレーションを制作
7	オーストラリアの現代作家展「世界は歪んでいる-Supernatural Artificial」	23区	04.07.17～ 04.08.29	東京都写真美術館	オーストラリアのニューメディア、メディアアートの分野の現代作家7名を紹介。写真をベースにしたメディアの人工的な偽造がコンセプト。不思議な超自然の世界を作り上げ、人間の様々な心理的要素を組み込んで物語的に展開した
8	金沢21世紀美術館開館記念展「21世紀の出会い」	金沢市	04.10.09～ 05.03.21	財団法人金沢芸術創造財団	美術における多様な作品と市民、アーティストと市民、異なるジャンル同士、過去と現在、また鑑賞者同士など、様々な出会いを生み出すことを目的とした展覧会。モネやセザンヌなどの絵画から、ダグ・エイケンらの新規制作作品まで、288点の作品により構成
9	ジャン・ブルーヴェ展	鎌倉市	04.10.30～ 05.01.16	神奈川県立近代美術館（鎌倉）	フランスの建築家、デザイナー、ジャン・ブルーヴェ（1901～84）の個展。ブルーヴェは職人的なもの作りと機会による産業的な生産システムを結びつけたデザイン思想で知られ、技術的なデザイン、建築の流れの祖であるブルーヴェを総合的に紹介
10	スヴェレ・フェーン建築展	23区	04.12.12～ 05.01.20	スヴェレ・フェーン建築展実行委員会	現代ノルウェー建築を代表するスヴェレ・フェーンの作品を、パネルと模型によって紹介。ノルウェー建築博物館が主体となって制作した展覧会で、97年より世界各地を巡回している
11	北欧のスタイリッシュ・デザイン-フィンランドのアラビア窯	滋賀県その他	05.03.19～ 05.06.12 05.06.23～ 05.08.07 05.08.16～ 05.10.02	財団法人滋賀県陶芸の森 江別市セラミックアートセンター 三浦美術館	スカンジナビア陶芸をフィンランドのアラビア窯の創立時（1873年）から現在までの作品120点を通じて、紹介。また、フィンランドよりデザイナーを招へいし、信楽焼の特性を活かしたデザイン提案と自由制作を行なった

## 造形美術事業費

### 2. 催し等事業費 (8) 造形美術情報交流(催し)

日本および海外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 4,061,585円

	事業名	国	期間	事業内容
1	オルタナティブ ス2004	韓国 中国（香港、 台湾を含む） 日本 インドネシア シンガポール タイ フィリピン ベトナム マレーシア インド スリランカ パキスタン バングラデ シュ オーストラリ ア	04.04.01～ 04.08.31	アジア16カ国・地域のアートスペース約170件を掲載したガイドブック作成

### 2. 催し等事業費 (9) 「愛・地球博」途上国支援事業

愛知万博に参加する一部の途上国が行なう展示事業の経費の一部を支援する。

合計額 26,138,960円

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
1	展示責任者旅費 助成	名古屋	05.03.25～ 05.09.25	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	「愛・地球博」に参加する後発開発途上国の展示事業に関し、展示準備のため来日する各国1名分の旅費を助成

### 3. 催し等事業費（トリエンナーレ） (1) 国際展

合計額 299,364,169円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	準備経費	全世界区分困 難	04.04.01～ 05.03.31	横浜市 NHK 朝日新聞社	平成17年度の「第2回横浜トリエンナーレ」開催に向け、準備業務を実施。本年度は、出品作家の選考作業を実施するほか、会場運営計画の策定、国内外における広報活動、プレ・イベントの実施、動員対策の検討、協賛依頼活動等を中心に行なった